

1. 家庭系食品ロス量の推計

	一人一日当たり発生量	人口	食品ロス発生量(年間)
高知市	47.1g	326,570人	5,614t
残りの市部	47.1g	243,174人	4,181t
四万十町	23.4g	15,670人	134t
残りの町村部	23.4g	104,371人	891t
高知県	43.0g	689,785人	10,820t

※高知市が令和元年度に実施した事態調査（組成調査）と四万十町が令和2年度に実施したモニター調査のそれぞれの調査結果による。  
 ※高知県統計分析課「高知県の推計人口年報（令和2年）」市町村別推計人口（10月1日現在）

2. 事業系食品ロス量の推計

(1) 食品リサイクル法に基づく定期報告対象事業者の推計（年間）

	食品廃棄物等の発生量(全国) A	食品廃棄物等の発生量(高知県) B	可食部率 C	食品ロス発生量(全国) D = A * C	食品ロス発生量(高知県) E = B * C
食品製造業	13,356,715t	9,809t	9.0%	1,202,104t	883t
食品卸売業	121,141t	63t	56.4%	68,324t	36t
食品小売業	908,077t	6,079t	53.9%	489,454t	3,277t
外食産業	591,665t	1,591t	54.0%	319,499t	859t
計	14,977,598t	17,542t	—	2,079,380t	5,054t

※食品リサイクル法に基づく食品廃棄物等多量発生事業者の定期報告（平成30年度実績）（農林水産省）  
 ※「可食部率」は令和2年度食品関連事業者における食品廃棄物等の可食部・不可食部の量の把握等調査報告書（令和3年3月三菱UFJリサーチ&コンサルティング）（農林水産省委託業務）による。（(2)表も同じ。）

(2) 食品リサイクル法に基づく定期報告対象外の事業者の推計（年間）

	100t未満事業者の食品廃棄物等の発生量(全国) a	高知県の構成比 b = B / A	100t未満事業者の食品廃棄物等の発生量(高知県) c = a * b	可食部率 d	食品ロス発生量(全国) e = a * d	調整後の食品ロス発生量(全国) (平成30年度) ★	食品ロス発生量(高知県) f = c * d
食品製造業	193,000t	0.07%	142t	9.0%	17,370t	57,896t	13t
食品卸売業	71,000t	0.05%	37t	56.4%	40,044t	91,676t	21t
食品小売業	218,000t	0.67%	1,459t	53.9%	117,502t	170,546t	787t
外食産業	1,229,000t	0.27%	3,305t	54.0%	663,660t	840,501t	1,785t
計	1,711,000t	—	4,943t	—	838,576t	1,160,620t	2,605t

※食品循環資源の再生利用等実態調査（平成29年度）（農林水産省）  
 ★農林水産省において、平成29年度調査値を平成30年度分に調整した数値（非公表）で平成30年度の食品ロス発生量（推計値）を算出している。

3. 高知県における食品ロス発生量の推計

	高知県 (a) (令和元~2年度)	全国 (平成30年度)	高知県の割合 (全国比)	4年後に目標値 (▲6.8%)を達成した場合 (b)	高知県の4年間の削減量 (a - b)	
家庭系食品ロス	発生量	10,820t (58.6%)	2,760,000t (46.0%)	0.4%	10,084t	736t
	一人一日当たり	43.0g	59.8g	-16.8g	40.1g	2.9g
事業系食品ロス	発生量	7,659t (41.4%)	3,240,000t (54.0%)	0.2%	7,138t	521t
	食品製造業	896t	1,260,000t	0.1%	835t	61t
	食品卸売業	56t	160,000t	0.0%	53t	4t
	食品小売業	4,063t	660,000t	0.6%	3,787t	276t
	外食産業	2,644t	1,160,000t	0.2%	2,464t	180t
	一人一日当たり	30.4g	70.2g	-39.8g	28.4g	2.1g
合計	発生量	18,479t	6,000,000t	0.3%	17,222t	1,257t
	一人一日当たり	73.4g	130.0g	-56.6g	68.4g	5.0g

※家庭系食品ロス量(全国)は「令和元年度食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査」(環境省)による。